

農業賞授賞式

二月十七日、町民会館で農業賞の授賞式が行われました。

この賞は、農業経営に意欲的に取り組んでいるすぐれた農業後継者を、日吉・南条・東陽・白浜の各地区から一名ずつ選考し、贈られたものです。

受賞者と受賞内容については次のとおりです。



区 三 本 孫
土屋 義博さん

昭和四十九年東京農業大学卒業後、水田二〇〇アール、畑六〇アールを両親と妻の四人で耕作し、養豚は繁殖豚二十頭を常時飼育、飼育豚年四〇〇頭の一貫経営に取り組んでいる。

又、畑六〇アールに越冬ネギ、人参、馬鈴薯を作付し、養豚からの堆肥を畑に還元して輪作障害を防止しながら、品質の向上と増収を図っている。

農業の多角的経営の安定を目指し、その営農意欲は盛んで、

将来多いに期待できる有能な後継者である。

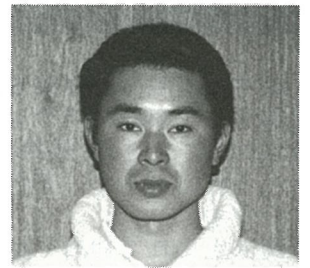
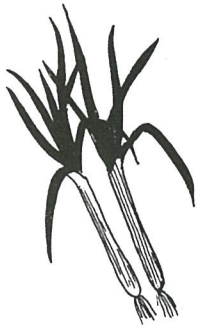


小 田 部
佐久間秀俊さん

昭和五十年に旭農業高等学校を卒業後、両親と三人で、水田一六〇アール、畑六五アールを耕作し、経営の安定を図っている。

畑には主に冬ネギ、バントム、キャベツを栽培し、水稲の繁忙時期と重ならない労働配分を考えている。連作障害の防止のため、輪作体系を立てながら有機質を増施し、品質の向上と増収を図っている。

なお、農協青年部の副部長としても活躍しており、中核的担い手農家の模範的な後継者です。



谷 中
越川 仁志さん

千葉県農業短期大学卒業後、福島県で主食用マッシュルーム栽培の技術研修（六カ月）を受け、昭和五十七年に栽培菌舎を建設し、三月から東京市場へ出荷を始めた。又、空調施設、予冷庫を導入することで周年栽培の流通体制を確立した。

水田一六〇アールは、深耕し、稲ワラを原料としたマッシュルーム堆肥の投入をし、増収を図っている。

営農意欲は盛んで、有能な後継者です。



木 戸
大木 義則さん

九州大学卒業後、銀行員となつたが、三十四歳で現在の養父母のもとへ転職、養父母と妻の四人で水田一一五アール、畑七

十三アール、ビニールハウス二〇アールを経営している。経験を積むため、現在まで十四〜十五種の作目に挑戦し、その結果、夏期と厳寒期の収入確保と労力分散のため、二〇〇〇

m²のビニールハウスを作り、バランスを図っている。難しい作物に挑むことも増収の一策と、夏場の葉ネギと冬場の小かぶを組み合せ、経営の安定に努力しており、模範的な後継者である。

中国選手今年も力走

県選手権マラソン大会

二月一日に公認マラソンコースで第四回日中友好杯、第三十九回千葉県陸上競技選手権マラソン兼第十回光町ロードレース大会が盛大に行われました。



二月一日夜、町民会館で中国選手団の歓迎会が行われました。